

# あ ぜ み ち 通 信

\*\*\*\*\*

9 月 1 日  
2005年(平成17年)

農業会議ミニレター(第57号)  
編集・発行：愛知県農業会議

## ◎ 会長、両副会長を選任、農業会議第1回総会《資料1参照》

本会は8月23日、愛知県産業貿易館で、神田真秋愛知県知事、水野隆史東海農政局生産経営流通部長等の臨席のもと本年度第1回の総会を開催しました。総会では、会長代行甲村茂常任会議員(豊田市農委会長)の議長により、平成16年度の事業報告、歳入歳出決算の承認を得るとともに、正副会長、監査委員の選出を行いました。会長には吉川博氏(県土連会長、再任)、副会長には平野重良氏(農協中央会副会長、新任)、上野政夫氏(町村会長、新任)、監査委員には桑山昇氏(津島市農委会長、新任)、榊原重也氏(音羽町農委会長、新任)を選出しました。

なお、木村尾張支部長(稲沢市農委会長)から「農業委員会活動の強化に向けた申し合わせ決議」、杉浦西三河支部長(西尾市農委会長)から「平成17年度情報活動の強化に向けた申し合わせ決議」が提案され、それぞれ満場一致で承認決定されました。

また、総会終了後、食生活・健康ジャーナリストの砂田登志子氏による「食農教育」を内容とする研修会を開催しました。講師は欧米など世界各地の豊富な取材経験によって、食育の必要性とこれへの農業関係者の関わりの重要性を指摘されるなど、今後の農業委員会活動にも参考になったものと思われます。

## ◎ 農業会議の新しい各支部長決まる・・・地域別農業委員会会長・事務局長会議

本会は、農業委員の統一選挙後の体制づくりのため、8月2日から5日、8日の5日間、県内の7地域で農業委員会会長・事務局長会議を開催し、新しい支部長、副支部長の選任を進めてきました。その結果、次の方々が選任されました。

支 部 名	支 部 長	副 支 部 長
尾 張 支 部	木村範之氏(稲沢市)	西尾俊治氏(小牧市) 渡邊和則氏(大口町) 加藤頌茲氏(春日町)
海 部 支 部	服部金蔵氏(弥富町)	桑山 昇氏(津島市) 伊藤惣一氏(大治町)
知 多 支 部	神谷昭八氏(半田市)	大澤秀武氏(阿久比町)
西三河支部	杉浦 覺氏(西尾市)	柴田勝巳氏(岡崎市)
豊田加茂支部	甲村 茂氏(豊田市)	—
新城設楽支部	野澤安雄氏(新城市)	—
東三河支部	中島 晉氏(豊橋市)	菰田明夫氏(田原市)

なお、名古屋支部は9月の農業委員選挙の後に選出願うことになっています。

## ◎ 総会における申し合わせ決議案などを協議・・・支部長会議を開催

本会は8月12日、白壁庁舎で支部長会議を開催し、本年度第1回総会提出議案、総会の開催計画、役員等選出について協議願いました。

また、平成17年度から19年度までの3ヵ年間を運動期間とする「農地と担い手を守り活かす運動」の啓発普及のため、「農業委員会活動の強化に向けた申し合わせ決議（案）」を、さらに昨年秋から今年にかけての市町村合併等による農業委員数の減少による全国農業新聞の購読部数の大幅な減少という危機的状況から、「平成17年度情報活動の強化に向けた申し合わせ決議（案）」をそれぞれ総会に提案することを決定しました。

## ◎ 賛助団体会議を開催

本会は8月10日、白壁庁舎で農協中央会などの関係農業団体、町村会などの総務関係部課長の出席を得て賛助団体会議を開催しました。会議では本年度第1回総会の開催計画、提出議案、常任会議員の互選等について協議願いました。

また、最近の農業情勢として、規制改革・民間開放推進会議の「中間報告案」の内容と対応を報告するとともに、農地と担い手を守り活かす運動と全国農業新聞等の情報活動の強化についての申し合わせ決議案についての協議を願い、了承を得ました。

## ◎ 常任会議員会議の審議状況

8月23日、農業会議第1回総会に先立って、統一選挙後初めての常任会議員会議を10時から開催しました。これは、総会への会長の出席が困難であったことと、両副会長が現在欠員のため、総会の議長を務める職務代行者として、常任会議員のうちから会長職務代行者を互選する必要があることによるものです。互選の結果、豊田市農業委員会会長の甲村茂常任会議員が選出されました。

また、8月31日開催の常任会議員会議では、知事諮問案件として農地法第4条に基づく転用事案34件 20,949平方メートル、第5条に基づく転用事案 280件 207,041平方メートルが審議され、いずれも許可して差し支えない旨、答申されました。

## ◎ 石川政子氏及び荻野紀子氏を新たに常任会議員に選出

本会常任会議員として、安城市農業委員の石川政子氏及び新城市農業委員の荻野紀子氏の両名が就任されました。

石川政子氏は花壇苗生産農家として、また、愛知県農村生活アドバイザー、全国女性農業経営者会議会員、日本ハンギングバスケット協会マスター（講師）などとして活躍されるほか、平成14年7月20日から農業委員に就任され現在2期目です。

荻野紀子氏はキノコ栽培農家として、また、農村輝きネット・あいち会長、全国生活研究グループ連絡協議会会長のほか、愛知県男女共同参画審議会、愛知県森林審議会、農林水産省地域に根ざした食生活推進協議会委員などとして活躍されてこられました。こうした功績により平成16年の秋に黄綬褒章を受章されています。平成13年10月7日から農業委員に就任され現在2期目です。

◎ **女性農業委員60名、認定農業者委員119名に《資料3, 4》**

農業委員の統一選挙後の女性農業委員は60名、認定農業者は119名となり、3年前に比べ、それぞれ10名、19名増加しました。全体の農業委員数は今回が1,491名、3年前が1,754名であったことから、全農業委員に対する比率は、女性農業委員では2.8%から4.0%へ、認定農業者委員では5.7%から8.0%、へと増加しました。

1農業委員会当たりでは女性農業委員0.6人から0.8人、認定農業者委員1.2人から1.7人となりました。

◎ **豊橋市農業委員会が「平成18年度農業施策に関する要望書」を提出**

豊橋市農業委員会は、「平成18年度農業施策に関する要望書」を取りまとめ、8月23日の農業会議総会終了後、中島会長から農業会議平野副会長に手渡し要請しました。内容は、食料主権の確立、食料・農業・農村基本計画の見直し、食の安全・安心のための諸制度の確立、農業経営の安定的継続のための価格安定制度の確立、農業後継者及び担い手農家の確保・育成、農業用水の確保等、相続税・贈与税の納税猶予制度の存続と適用の拡大、農畜産物の病虫害等防除対策の強化、農業委員会交付金の存続など多岐にわたるものとなっております。

本会は、この要請を受け常任会議員会議に報告するとともに国、県及び全国農業会議所あて文書をもってその実現方を依頼しました。

◎ **規制改革・民間開放推進会議の「中間報告」に関する緊急要請**

政府の規制改革・民間開放推進会議（議長：宮内義彦オリックス会長）がこれまで検討してきた「中間報告」の内容が明らかになりましたが、この内容は実態を無視したともいえる農地・農業委員会制度解体につながるものといえます。この「中間報告」の公表が8日の参議院本会議で郵政民営化関連6法案が否決されたことによる衆議院解散によって、その行く末はやや不透明の観はありますが、今後の動きを注視するとともに、農地・農業委員会制度の改悪につながらないように引き続いて地元選出国會議員との接触の機会があった場合、働きかけをお願いします。

◎ **担い手支援市町村担当者会議を開催・・・愛知県担い手育成総合支援協議会**

8月12日に三河ブロック、8月19日は尾張ブロックの市町村担当者会議が開催されました。会議では、担い手育成総合支援協議会の支援体制と本年度の事業計画の説明が、また、県からは経営政策の推進として、地域協議会の設置状況、18年度県重点推進項目と支援メニュー・予算、農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の改正についての説明がなされました。認定農業者制度等については、東海農政局の上村経営課長から豊富な資料をもとに説明がなされました。その後の質疑では、熱心な意見も出され予定時間を超過するほどでした。

◎ **農業会議会長賞は豊田市の高橋昭裕さんに・・・第38回愛知県山村花き品評会**

第38回愛知県山村花き品評会が、8月4～5日に新城市の愛知新城大谷大学で開催されました。今年は4月以降は好天が多く小雨、渇水傾向となり、栽培には苦勞の多い年となりましたが、出品物は全体的に品質の優れたものや商品性の高いものが

多く、生産者の並々ならぬ努力の跡が伺われる内容で、総出品点数は428点でした。

知事賞には川合勲さん（豊田市）の小ギク、仲原久さん（鳳来町）のシキミ、中神啓之さん（新城市）のファレノブシスが選ばれました。また、農業会議会長賞は高橋昭裕さん（豊田市）の小ギクに授与されました。

- ◎ 「第19回農業委員統一選挙後の全農業委員会の体制等に関する状況」について  
全農業委員会を対象に6月24日付で調査をお願いしておりました統一選挙後の農業委員会の体制等についての状況を取りまとめました（資料2～4）。  
また、各農業委員会の総会において新たな会長も決まりました（資料5）。

◎ 各支部別の農業委員・職員研修会の日程について

農業委員会等に関する法律の一部改正（平成16年11月から施行）と新たな「食料・農業・農村基本計画」の閣議決定（本年3月）後、本年7月に第19回農業委員統一選挙が実施され、新たな農業委員が誕生しました。

こうした情勢下、農業委員会活動が農地と担い手に重点を置いた目に見える形での取り組みが要請されております。したがって、全農業委員及び農業委員会事務局職員を対象に農業委員の任務と役割への理解を深め、農業委員会活動の強化を目指すため下表のとおり研修会を開催します。

詳しいことは、農業会議農政課・鳥居主査までお尋ねください。

支部名	開催日	開催場所
尾張・名古屋支部	11月2日（水）	稲沢市民会館中ホール 電話 0587(24)5111
海部支部	9月 2日（金）	八開農業管理センター 電話(支所) 0567(37)0231
知多支部	11月4日（金）	半田勤労福祉会館講堂 電話 0569(23)2255
西三河・豊田加茂支部	11月1日（火）	西尾市文化会館小ホール 電話 0563(54)5855
新城設楽支部	12月 上旬	未定
東三河支部	11月8日（火）	豊橋勤労福祉会館小ホール 電話 0532(46)7181
女性農業委員特別研修	12～1月予定	未定

◎ ストップザ農作業事故！・・・秋の農作業安全運動

農作業事故ゼロ運動が「農作業事故は決して他人事ではありません！」をスローガンに、毎年農繁期である春（4～5月）・夏（7月）・秋（9～10月）を強化月間として実施されています。

愛知県農業経営課及び一部市町村消防関係調査結果の推計では、本県では毎年500件以上発生していると推定されています。そのうち、死亡事故・重傷事故は毎年100件以上、さらにその予備軍（ヒヤリ・ハット体験）は、約4万件（農業者3人

に1人の割合)ほど発生していると推定されています。農作業事故は決して他人事ではありません。

### ◎ 全国農業新聞の普及状況(8月)

7月の第19回農業委員の統一選挙によって新たな農業委員が選出され、初の総会も既に終了、多くの農業委員会で今後3年間の新体制が発足しております。しかし、今年に入って合併のあった市町村にあっては、合併特例法の適用期限が今回の統一選挙までとする農業委員会が多いこともあり、農業委員数が減少し、普及部数及び今後の普及推進にかなりの影響を及ぼすことが想定され、実際、全国農業新聞の8月の普及状況は、申し込みは本年最高の4,783部あったものの中止も8,276部あり、結果として前月対比3,505部減、16年12月対比29,117部減の186,600部となり、農業委員数対比の普及率は3.3となっています。

本県の普及状況は前月比163部減、16年12月対比で833部減の3,574部となりました。

### ◎ 改正農業経営基盤強化促進法を研修・・・農業委員会事務研究会第46回総会

8月1日、県水産会館において愛知県農業委員会事務研究会第46回総会を開催しました。総会では、平成16年度の事業報告と歳入歳出決算の承認、平成17年度の事業計画の設定と歳入歳出予算の決定、規約の一部改正などを行いました。また、欠員となっていた監事については岡本和也氏(三好町農業委員会)が指名されました。

総会終了後の研修会では、会員等71名の参加を得て、農林水産省経営局構造改善課の小倉課長補佐から改正農業経営基盤強化促進法の概要について、また本会職員から、農業委員会系統組織の対応方針についての説明を行いました。

なお、農業経営基盤強化促進法等農地制度改正に関する法律の省令は8月19日付けで公布され、9月1日から施行されます。

### ◎ 平成16年度食料需給表の概要、食料自給率が公表されました

8月10日、平成16年度食料需給表の概要、食料自給率が公表されました。

これによると、カロリーベースでの食料自給率は前年度と同じ40%(国民1人・1日当たりの総供給熱量は、対前年度1.0%減(25kcal減)の2,562kcal、国産熱量は同1.5%減(15kcal減)の1,013kcal)で、平成10年度から7年連続の横ばい水準となっています。

また、生産額ベースの食料自給率も前年度と同じ70%(食料の国内生産額は対前年度1.2%増(0.1兆円増)の10.6兆円、国内消費仕向額は同2.0%増(0.3兆円増)の15.3兆円)となっています。

### ◎ 第3回「オーライ!ニッポン大賞」に関する応募の協力について

平成15年度からオーライ!ニッポン会議(都市と農山漁村の共生・対流推進会議)、農林水産省及び(財)都市農山漁村交流活性化機構の主催により実施されている「オーライ!ニッポン大賞」が本年度も実施されます。この表彰事業は、①都市と農山漁村の「人、もの、情報」の往来を活発にする活動に寄与している団体、

個人、②都市と農山漁村双方の生活、文化を楽しむライフスタイルを実践してる方が対象となります。こうした方に対して応募を積極的に働きかけていただきますようお願いいたします。応募は事務局である(財)都市農山漁村交流活性化機構へ直接提出となりますが、応募期間は8月1日～10月31日までです。なお、詳しいことは農業会議の神谷チーフコンダクターまでお尋ねください。

◎ 第11回環境保全型農業推進コンクールの対象事例の推薦について

環境保全と農業に対する国民への理解を深め、地域社会の活性化につながる環境保全型農業の面的拡大に資することを目的に、平成7年度から全国環境保全型農業推進会議主催により実施されております。環境保全型農業に積極的に取り組んでいる農業者、農業集団、農業団体、自治体、消費者団体等の推薦をお願いします。県候補の推薦は9月上旬までとされています。詳しくは県農業振興課；環境・植防グループ (Tel052-954-6411, FAX052-954-6931)までお尋ねください。

◎ 愛花協だより(知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈)

安城市 杉浦雅章さん・直美さん(8月21日挙式)

ご結婚おめでとうございます。ご多幸とご活躍をお祈りします。

◎ 今後の主な行事予定

- 9月1～2日 都市農業対策協議会現地研究会及び作業部会(京都市)
- 9月2日(金) 海部支部農業委員・職員研修会
- 9月2～3日 第11回全国棚田(千枚田)サミット(鳳来町)
- 9月5～6日 農業者年金業務担当者研修会(グリーンホテル三ヶ根)
- 9月6日(火) 都道府県農業会議事務局長会議(東京都)
- 9月7日(水) 水田農業構造改革・担い手育成フォーラム(名古屋市熱田文化小劇場)
- 9月8日(木) 都市農村交流推進現地研究大会(豊田市)
- 9月8～9日 情報事業重点普及農業委員会推進会議(松本市)
- 9月13日(火) 都道府県農業会議会長会議(東京都)  
平成17年度第1回愛花協幹事会(白壁庁舎)
- 9月14日(水) 農業委員会等活動強化対策事業活動評価検討会(白壁庁舎)
- 9月16日(金) 常任会議員会議(白壁庁舎)
- 9月21日(水) 全国農業会議所第68回臨時総会(東京都)
- 9月28日(水) 愛知県担い手育成総合支援協議会第2回幹事会(白壁庁舎)

農業委員会活動の強化に向けた申し合わせ決議

全国農業委員会会長大会で決議された「農地と担い手を守り活かす運動」については、3月28日開催の平成16年度第2回総会において、「特色ある農業委員会活動」の実現に関する申し合わせとして決議を行ったところである。

また今回、新たな「食料・農業・農村基本計画」の実現に向け、担い手・農地対策の一環として本年6月に農業経営基盤強化促進法等の農地制度関係法等の一部が改正された。さらに今後、品目横断的政策及び環境・資源保全政策等が地域農業の振興に結びつくよう、具現化する運動を進めていかなければならない。

したがって、われわれ農業委員会系統組織は、これら政策の実現とそのための運動の推進、実践活動への取組を一層強化する必要がある。こうしたことから、以下のとおり申し合わせることを決議する。

記

1. 食料自給率向上のため、農地パトロール等農地利用の監視活動の強化を進め、優良農地を次世代に継承すること。
2. 認定農業者等の担い手の確保・育成と農地利用集積等を含む支援活動を推進すること。
3. 認定農業者等との意見積み上げと地域に根ざした農政運動を展開すること。
4. 全農業委員会で地域の課題に対応した活動計画を作成し、その実現に向けた取り組みを目指すこと。

以 上

平成17年8月23日

愛知県農業会議総会

平成17年度情報活動の強化に向けた申し合わせ決議

われわれの情報活動は農政の推進と組織強化のための基盤をなす事業である。これなくして農政の滲透・構造政策の推進・系統組織の強化はあり得ない。

よって、われわれは新たな決意のもとに農業委員会の行うあらゆる事業を通じ、本来の責務である農業者に対する情報活動を強化するため、下記の事項を一層推進する。

記

1. 系統組織情報誌「全国農業新聞」の普及拡大。
2. 「全国農業図書」の普及と活用の徹底。
3. 「農業委員会だより」をはじめとする農業委員会独自の情報活動の強化。

以 上

平成17年8月23日

愛知県農業会議総会

第19回農業委員統一選挙後の全農業委員会の体制等に関する状況  
 (平成17年7月20日現在、ただし刈谷市・知立市は8月末)

支部別	選挙委員			選任委員									
	定数 人	実数 人	合併 特例 終了 後人 数 人	団体推薦									議会 推薦 委員 数 人
				農協		共済		土地 改良		条例等制定 の農委員会 数 件			
				理事 人	組合 員 人	理事 人	組合 員 人	理事 人	組合 員 人	条例 数	規則 件	無 件	
尾張 海部 知多 西三河 豊田加茂 新城設楽 東三河 名古屋	327 159 168 193 53 70 139 30	325 159 166 193 53 70 139 29	▲29	21 12 9 12 2 6 8 2			8		11 7 5 8 2 1 8		3 1 2 4 2 2 1	17 9 9 8 2 4 9	57 31 31 43 8 22 18 5
計	1,139	1,134	▲29	72	3	16	1	42	3	11	1	59	215

支部別	部会の設置		女性農業 委員		認定農業 者委員		今回 統一 選挙 実施 件	投票 のあ った 農委 件	新任 委員 (選 挙) 人	委員定数改 定	
	農地 部会 件	その 他部 会 件	選 挙 人	選 任 人	選 挙 人	選 任 人				選 挙 人	議 会 推 薦 人
尾張 海部 知多 西三河 豊田加茂 新城設楽 東三河 名古屋	2 1 3 1 1 1 1	1 1 3 1 1 1	1 1 1 1 1 1	6 5 5 21 4 8 7 1	10 5 15 32 6 6 25 1	2 1 10 2 2 10 8	18 10 7 11 2 5 8	1 1 1 1 1	177 91 60 91 29 5 56	▲26 ▲4 ▲11 ▲14 ▲26	▲10 ▲2 ▲3 ▲2 ▲2 ▲2
計	8	7	8	52	94	25	61	2	509	▲81	▲21



單位；人

支部別	年齡別・男女別農業委員數															
	40~45未				45~50未				50~55未				55~60未			
	選挙		選任		選挙		選任		選挙		選任		選挙		選任	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
尾張			1		3			11		4	2	34		10	2	
海部	1				11		3	11		6		23		7		
知多					3		2	14		4	2	30		11	1	
西三河	2		1	4		1	2	14		5		23		6	8	
豊田加茂								3		1	2	7		1	1	
新城設楽	1				2			7				10		4	3	
東三河	2	1			4		1	1	15	1	3	1	35	10	3	
名古屋												2	1	1		
計	6	1	1	1	27		7	3	75	1	23	7	164	1	50	18

年齡別・男女別農業委員數															
60~65未				65~70未				70以上				合計			
選挙		選任		選挙		選任		選挙		選任		選挙		選任	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
84	1	17	1	105		24	1	87		27		324	1	83	6
40		12		40		17		33		12		159		58	
47	1	9	2	51		9		20		8		165	1	43	5
49		11	7	65		12	3	36		7		193		43	21
9	1	3		24		3	1	9				52	1	8	4
14		4	4	18	1	11	1	17		6		69	1	22	8
43		10	2	27	1	6		10		4		136	3	35	7
5		1		6		2		15		3	1	28	1	7	1
291	3	67	16	336	2	84	6	227		67	1	1,126	8	299	52

《資料 3》

第19回農業委員統一選挙後の市町村別女性農業委員数

(平成17年7月20日現在、ただし刈谷市・知立市は8月末)

	選挙	選任		選挙	選任		選挙	選任
尾張(20)	1	6	知多(10)	1	5	新城設楽(7)	1	8
一宮市	0	0	半田市	0	2	新城市	0	1
瀬戸市	0	0	常滑市	0	0	設楽町	0	2
春日井市	0	0	東海市	0	0	東栄町	1	1
犬山市	0	0	大府市	0	2	豊根村	0	0
江南市	0	0	知多市	0	0	津具村	0	0
小牧市	0	0	阿久比町	0	1	鳳来町	0	2
稲沢市	0	0	東浦町	0	0	作手村	0	2
尾張旭市	0	0	南知多町	1	0			
岩倉市	0	0	美浜町	0	0	東三河(9)	3	7
豊明市	0	1	武豊町	0	0	豊橋市	1	1
日進市	0	2				豊川市	1	1
清須市	0	0				蒲郡市	0	2
清東郷町	0	0				田原市	1	1
長久手町	0	1	西三河(12)	0	21	音羽町	0	0
豊山村	0	0	岡崎市	0	2	一宮町	0	0
師勝町	1	1	碧南市	0	2	小坂井町	0	2
西春町	0	1	刈谷市	0	1	御津町	0	0
春日町	0	0	安城市	0	4	渥美町	0	0
大口町	0	0	西尾市	0	2			
扶桑町	0	0	知立市	0	3	名古屋(1)	1	1
			高浜市	0	2	名古屋市	1	1
			一色町	0	0			
			吉良町	0	1	合計(71)		60
			幡豆町	0	2			
海部(10)	0	0	幸田町	0	2			
津島市	0	0	額田町	0	0	選挙農業委員8/1,139		
愛西市	0	0				(3年前 11/1,359)		
七宝町	0	0				選任農業委員 52/352		
美和町	0	0				(3年前 39/395)		
甚目寺町	0	0				農業委員会数 31/71		
大治町	0	0	豊田加茂(2)	1	4	(3年前 31/86)		
蟹江町	0	0	豊田市	1	2	女性農業委員比率4.0%		
十四山村	0	0	三好町	0	2	(3年前 2.8%)		
飛島村	0	0				1委員会当たり0.85人		
弥富町	0	0				(3年前 0.58人)		

第19回農業委員統一選挙後の市町村別認定農業者農業委員数  
(平成17年7月20日現在、ただし刈谷市・知立市は8月末)

	選挙	選任		選挙	選任		選挙	選任
尾張(20)	10	2	知多(10)	15	10	新城設楽(7)	6	0
一宮市	2	0	半田市	0	4	新城市	1	0
瀬戸市	0	0	常滑市	4	2	設楽町	2	0
春日井市	0	0	東海市	0	0	東栄町	1	0
犬山市	1	0	大府市	2	0	豊根村	0	0
江南市	3	0	知多市	2	1	津具村	0	0
小牧市	0	0	阿久比町	0	0	鳳来町	0	0
稲沢市	0	1	東浦町	0	0	作手村	2	0
尾張旭市	0	0	南知多町	2	1			
岩倉市	0	0	美浜町	5	1	東三河(9)	25	10
豊明市	1	0	武豊町	0	1	豊橋市	4	1
日進市	0	0				豊川市	2	0
清須市	0	0				蒲郡市	3	0
東郷町	1	0	西三河(12)	32	2	田原市	3	1
長久手町	1	0	岡崎市	0	0	音羽町	1	1
豊山村	0	0	碧南市	9	0	一宮町	2	3
師勝町	0	0	刈谷市	5	1	小坂井町	1	0
西春日町	0	0	安城市	10	0	御津町	5	2
大扶桑町	0	0	西尾市	2	0	渥美町	4	2
	1	1	知立市	0	0	名古屋(1)	1	0
			高浜市	0	0	名古屋市	1	0
			一色町	1	0			
			吉良町	0	0			
			幡豆町	1	0	合計(71)	119	
海部(10)	5	1	幸田町	4	1			
津島市	1	0	額田町	0	0	選挙農業委員 94/1,139		
愛西市	0	0				(3年前 78/1,359)		
七宝町	1	0	豊田加茂(2)	0	0	選任農業委員 25/352		
美和町	3	0	豊田市	0	0	(3年前 22/395)		
甚目寺町	0	1	三好町	0	0	農業委員会数 40/71		
大治町	0	0				(3年前 38/86)		
蟹江町	0	0				認定農業者委員比率8.0%		
十四山村	0	0				(3年前 5.7%)		
飛島村	0	0				1委員会当たり1.68人		
弥富町	0	0				(3年前 1.16人)		

新農業委員会長の顔ぶれ

《資料 5》

市町村	会長氏名	摘要	市町村	会長氏名	摘要
一宮市	青井 清司	新任	南知多町	中川 奉三	非改選
瀬戸市	朝井 徹也	新任	美浜町	谷川 喜信	非改選
春日井市	井村 與曾之	新任	武豊町	小山 博也	非改選
犬山市	高木 銚一	新任	岡崎市	柴田 勝巳	新任
江南市	林本 昌久	新任	碧南市	彌冨田 育男	新任
小牧市	西尾 俊治	新任	刈谷市	近藤 正光	新任
稲沢市	木村 範之	非改選	安城市	安藤 幹彦	新任
尾張旭市	谷口 正直	新任	西尾市	杉浦 覺	新任
岩倉市	丹羽 司朗	新任	知立市	林 秋雄	新任
豊明市	鈴置 正安	新任	高浜市	平山 昭雄	新任
日進市	萩野 忠克	新任	一色町	大河内 光行	新任
清須市	浅井 尊弘	非改選	吉良町	鈴木 誠	非改選
東郷町	水野 元紀知	新任	幡豆町	伊藤 勝	新任
長久手町	川本 勝	新任	幸田町	水野 良雄	新任
豊山町	安藤 和彦	新任	額田町	荻野 満男	新任
師勝町	渡邊 則彦	新任	豊田市	甲村 茂	新任
西春町	池山 和夫	新任	三好町	久野 韶光	新任
春日町	加藤 頌茲	新任	新城市	野澤 安雄	非改選
大口町	渡邊 和則	新任	新設東豊津鳳作	澤田 左内	非改選
扶桑町	今枝 二一	新任	栄根村	長坂 輝男	新任
津島市	桑山 昇	新任	具来村	山本 吉穂	新任
愛西市	横井 敏	新任	作手村	加藤 和年	新任
七宝町	角田 嘉宏	新任	近藤河合	近藤 治敬	新任
美和町	鈴木 良弘	新任	豊橋市	中島 晉	新任
甚目寺町	宮崎 稔	新任	豊川市	山本 章司	新任
大治町	伊藤 惣一	新任	蒲郡市	水藤 昭二	新任
蟹江町	吉田 雅巳	新任	田原市	菰田 明夫	新任
十四山村	佐藤 高	新任	音羽町	榑原 重也	新任
飛島村	佐藤 美英	新任	一宮町	市川 隆久	新任
弥富町	服部 金藏	新任	小坂井町	中村 一彦	新任
半田市	神谷 昭八	新任	御津町	鳥井 英輔	新任
常滑市	中野 元博	新任	渥美町	鈴木 眞之	非改選
東海市	久野 正二三	新任	名古屋市	梶野 進	非改選
大府市	久野 明次	新任			
知多市	神谷 憲敏	新任			
阿久比町	大澤 秀武	新任			
東浦町	原田 茂俊	新任			